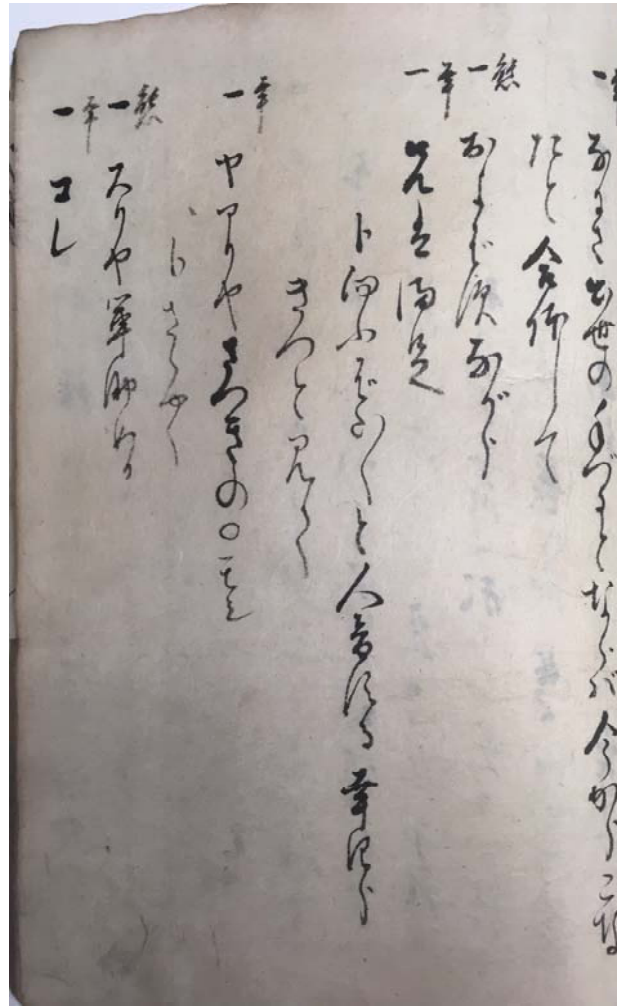


②貼り紙を付けて撮影（大阪バージョン）



①貼り紙を除いて撮影（名古屋バージョン）

文化十一年（二八一四年）、鶴屋南北つるやなんぼくという人物が書いた『隅田川花御所染』すみだがわはなのごしよぞめという歌舞伎作品が初演されました。左に掲げたのは、名古屋で再演されたときの台本です。真ん中の下書き「ト向ふむしばたと人音ひとねする。幸四郎こうしろう（役者の名前。五代目松本幸四郎）、きつと見て」の後に、①の図版では、「ヤ、アリヤ、さつきの○ モシ…」とありますが、②の図版では、貼り紙が貼られていて、「ヤ、アノ人音は…」と修正されています。この修正は、名古屋での上演の数ヶ月後、大阪で公演された時につけられたものと考えられます。台本に貼り紙をしながら、作品をバージョンアップさせて上演していたことが、こうした資料から分かります。